

2017年4月5日

Modulo CIVIC TCR デビュー戦 Gr.2 総合ワンツーフィニッシュ

2017年4月1日(土)、ツインリンクもてぎで行われたスーパー耐久2017Gr.2レース決勝(200分)^{※1}においてModulo CIVIC TCRは並みいる強豪を抑え、ST-Rクラス^{※2}のみならずこの日行われたレース総合でもワンツーフィニッシュを果たし、見事なデビューを飾りました。

S耐2017初戦ツインリンクもてぎは、Modulo CIVIC TCRのST-Rクラスの他、ST-1、ST-2、ST-5が混走するGr.2の予選と決勝が土曜日の午前と午後に分かれて行われました。

Gr.2決勝で総合9位のグリッドからスタートした97号車Modulo CIVIC TCRの一番手伊藤真一選手は、素晴らしいペースで総合3位にジャンプアップして、二番手海老澤紳一選手にバトンタッチ。しかしピット作業に時間を要し、この間に同じModulo CIVIC TCRを駆る98号車がトップを奪取。ピットアウト後も、2台は快走に次ぐ快走で他を寄せつけず、この時点で総合一番手、二番手に浮上しレース全体をリード。97号車の三番手中野信治は「ハコ車は乗り慣れていない」としながら、同車で決勝のベストラップを記録しながらの走り観客を魅了。Modulo CIVIC TCRはその後も圧倒の走りを見せ、同クラスのライバルを2周遅れにするばかりでなく、デビュー戦のCIVIC TCRをこのレースの総合ワンツーフィニッシュへと導きました。この結果ST-Rクラスの年間ポイントは、MOTUL DOME RACING PROJECTの98号車が21点で首位、Modulo Racing Projectの97号車が16点で2位につけています

第二戦は4月30日、スポーツランドSUGOで行われます。Modulo CIVIC TCRにご期待ください。

※1・・・スーパー耐久2017第1戦もてぎでは4/1(土)にGr.2の予選・決勝が行われました。

※2・・・今年のスーパー耐久は7つのクラスに分かれてそれぞれ年間ポイントを競います。

ST-Rクラスは今年から新設された2リッターターボ前輪駆動車で、欧州を中心としたTCR規格の車両です。



Modulo CIVIC TCR 97号車



Modulo CIVIC TCR 97号車表彰台
〈左から伊藤真一、海老澤紳一、中野信治の各選手〉

スピードはひかえめに、シートベルトをしめて安全運転。お子様にはチャイルドシートを。

<97号車ドライバー 伊藤真一選手コメント>

準備時間がなく厳しい状態の中で、今日レースに参戦できたことを本当にうれしく思います。今回は同クラスで走るAUDIより上位に出る事が目標。そのAUDIを途中かわすこともできたし、レースらしいレースができたと思います。シーズンはまだ始まったばかりですし、これからもチーム一丸となって頑張ります！

<97号車ドライバー 海老澤紳一選手コメント>

ドライバーチェンジをしてコースインすると、後方にいたはずの98号車が前を走っていて驚きました。ピットイン作業中に抜かれてしまったようです。かなり追いつけたつもりですが、中野選手へバトンタッチした時点で30秒のギャップがあったようでした。もっとできる事もあったと思うので、今日の教訓を次に活かして次戦こそトップを目指します。

<97号車ドライバー 中野信治選手コメント>

急に参戦が決まりチームも大変だったと思いますが、メカニックも頑張ってくれたし、マシントラブルもなく、みんな素晴らしい仕事をしてもらいとても感謝しています。自身、S耐は初めての参戦だったので未知の世界でもありましたが、無事に走りきることができたのは、チームとチームメイトのおかげです。結果は2位となんと惜しい結果でしたが、次戦に向けもっとチームに貢献できるよう力をつけて戻ってきます。

<株式会社ホンダアクセス代表取締役 松居祥二コメント>

今回は急な参戦ということもあり、正直なところ期待と心配の双方がありましたが、最後はST-Rクラスばかりでなく、この日の総合ワンツーフィニッシュという、願ってもない成果を見せていただきました。Modulo CIVIC TCRすべてのドライバー、チームスタッフ、関係者に感謝するとともに、非常にタイトな準備期間にも関わらず素晴らしい結果をもたらす原動力になった(株)童夢のみなさま一人ひとりに敬意を表します。

<株式会社童夢代表取締役 高橋拓也コメント>

レース参戦が決定してから開幕までの期間が非常に短く、準備不足の懸念もありましたが、素晴らしいチームワークで最高の滑り出しとなりました。関係者の皆さまには心より感謝いたします。開幕戦ではModulo CIVIC TCRのポテンシャルの高さを存分にみただけの良い機会になったかと思います。今後プライベートの皆様にも興味をもっていただき、より多くの方々にTCRのレースを楽しんでいただきたいと思います。次回Rd.2も全力で頑張りますので応援よろしくお願いたします。